



平成29年度

全国学力・学習状況調査結果について

今年4月18日、尼崎市内の全中学校3年生で実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

【学力調査結果の概要】 全国より高い数値は太字・網掛け

【国語A：主として知識】平均正答率

	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化	全体
本校	75	85	75	74	76
全国	75	86	74	77	77

【国語B：主として活用】平均正答率

	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化	全体
本校	69	58	72	44	71
全国	72	61	72	41	72

【数学A：主として知識】平均正答率

	数と式	図形	関数	資料の活用	全体
本校	72	64	57	66	65
全国	70	66	57	58	65

【数学B：主として活用】平均正答率

	数と式	図形	関数	資料の活用	全体
本校	48	45	55	51	49
全国	46	47	51	49	48

本年度は、上の結果から、全体の平均正答率においては数学Bで全国平均を1ポイント上回りました。数学Aにおいても、全国平均との同じとなっています。

また、国語A・Bにおいても、全国平均との差は1ポイントであり、全国平均と同水準となっています。全国平均と±5ポイントの範囲内は、全国と同程度とされています(文部科学省基準)

領域別に見ると、国語Aの「読むこと」、国語Bの「伝統的な言語文化」、数学Aの「数と式」「資料の活用」、数学Bの「数

と式」「関数」「資料の活用」で、それぞれ全国平均を上回っています。

3年生の生徒たちは、日頃から頑張っている学習に取り組んでいることがよくわかる結果となっています。

【生徒質問紙回答結果の概要】

生徒質問紙調査は、全てで94問ありますので、今回は、特に良好であったものと課題が見られたものについて紹介をします。

()の中の2つの数値は(南武庫之荘中学校、全国平均)割合%を表しています。

(1)~(5)に回答に使われている割合は、している+どちらかといえばしている(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)の合計です。

(1) 規範意識について

- ・学校の規則を守っていますか(95.3、95.2)
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(96.2、92.8)

ともに90%を超えており、全国平均を上回っています。規範意識の醸成は、落ち着いた学習環境の創造し、子どもたちの力を最大限に発揮するために必要不可欠です。これからも引き続き、指導を継続していくことが重要と考えております。

(2) 自尊感情・自己有用感について

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか(91.9、94.7)
- ・将来の夢や目標を持っていますか(74.0、70.5)

ものごとをやり遂げてうれしかった経験や将来の夢・目標については、全国平均と同じ状況となっています。

(3) 学校での生活について

- ・学校で、友達に会うのは楽しいと思えますか(94.8、94.6)
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか(92.5、94.6)

ともに90%を超えており、全国平均と同じ状況です。学校生活で友達に会うことが楽しいと思える生徒がさらに増えていくように、指導を継続していくことが重要と考えております。

(4) 授業について

- ・1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思えますか(82.0、84.4)
- ・1,2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思えますか(74.8、81.8)

生徒の主体的・対話で深い学びを視点とした学習については、徐々に定着してきており、全国平均に近い数値となっています。

(5) 学習習慣について

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている(45.0、51.5)
- ・家で、学校の宿題をしている(92.4、89.5)
- ・家で、学校の授業の予習をしている(19.9、31.7)
- ・家で、学校の授業の復習をしている(29.4、50.5)

宿題に取り組む生徒は、90%を超えています。しかし、計画的学習、予習・復習といった、自ら進んで学習に取り組むことについては、課題となっております。

(6) 携帯電話・スマートフォンの使用について

普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

- 1時間以上 (58.7、50.4)
- 30分~1時間 (17.1、15.9)
- 30分より少ない (15.2、17.5)
- 持っていない (9.0、16.1)

携帯電話・スマートフォンについて、全国平均と比較して、所持率が高く、使用時間も長い傾向にあることがわかります。携帯電話・スマートフォンの使用については、適切な時間や使い方について家庭でのルールを決めて、それを守ることが必要です。学校と家庭が協力をして、ルールについて考え、子どもたちに守らせていこうとする意識を共有していきましょう。

良い点はさらに伸ばし、課題となっている点は、保護者の方とも連携しながら克服できるよう、今後もしっかり取り組んでいきます。